

令和7年度 事業体系図

所属名： 商工観光課

(単位：千円、人)

款	項	目	事業番号	事業名	新規・継続等の別	当初要求額	前年度 当初要求額	前々年度 決算額	一般職 人数	会計年度 職員員数
2 総務費	5 統計調査費	1 統計調査費	913	基幹統計調査	継続	8,297	3,753	1,085	0.6	1.0
			小計				8,297	3,753	1,085	0.6
6 商工費	1 商工費	2 商工振興費	210	商工業の振興	継続	228,312	53,903	22,606	1.5	0.0
			1532	琴浦町未来人材奨学金返還支援事業	継続	981	1,039	3,127	0.1	0.0
			1486	新型コロナウイルス感染症対策事業（緊急経済対策）	継続	8,783	19,131	14,368	0.1	0.0
			小計				238,076	74,073	40,101	1.7
6 商工費	1 商工費	3 観光費	215	観光振興事業	継続	18,878	22,694	14,278	0.5	0.0
			217	一向平キャンプ場の管理と清掃活動事業	継続	10,262	9,703	18,251	0.5	0.0
			407	船上山管理運営	継続	3,353	2,462	2,415	0.5	0.0
			408	道の駅ポート赤碕運営管理	継続	2,930	2,749	2,947	0.4	0.5
			1079	道の駅琴の浦管理運営事業	継続	6,496	7,045	6,817	0.4	0.0
			1142	旧中井旅館管理運営事業	継続	395	447	425	0.1	0.0
			1567	地域おこし協力隊活動事業（商工観光課）	継続	1,404	7,412	1,440	0.2	1.0
			1670	日韓友好資料館サイクリステーション拠点整備事業	新規	43,747			0.5	0.0
			小計				87,465	52,512	46,573	3.1
6 商工費	1 商工費	4 地域振興費	25	八橋ふれあいセンター管理	継続	912	1,337	1,455	0.1	0.0
			415	日韓友好交流公園管理運営	継続	3,896	3,780	2,655	0.5	1.2
			小計				4,808	5,117	4,110	0.6
所属合計						338,648	135,455	91,869	6.0	3.7

令和7年度 事業説明書



一般会計

1 基本情報

事業番号	913	事業名	基幹統計調査		事業区分	□新規 ■継続	
担当課	商工観光課		担当係	商工係			
予算区分	款	2 総務費	項	5 統計調査費	目	1 統計調査費	
まちづくりビジョン	(6) 町民の声が届き、ともに創る未来のまちづくり			① 町民に伝わる情報発信と情報共有			
	重点事業						

2 当該年度の事業費

(単位：千円)

	事業費	事業費財源内訳					備考	
		国庫支出金	県支出金	その他(収入)	町債	一般財源	その他収入の内訳	町債の内訳
当初予算額	8,297	0	8,296	0	0	1		
前年度予算額	3,753 (比較：4,544)		前々年度決算額		1,085 (比較：7,212)			
トータルコスト	15,461	一般職人件費		4,203 (0.6人)		会計年度職員人件費		2,961 (1人)

3 事業の概要

事業の目的 (なんのために)	統計法に基づき、計画立案のための統計情報を的確に収集する。 令和7年度の主な調査は「国勢調査2025」である。			
前年度からの改善点等				
前年度評価で整理した取り組みの内容	①町報やチラシのほか、調査員の経験がある方への声かけ等により引き続き調査員の確保に努める。			
細事業等	内容	予算額 (千円)	財源内訳	前年度との変更点
統計調査事務費	国勢調査2025 8,231千円 日本に住んでいるすべての人及び世帯を対象として5年ごとに行う国の最も重要な統計調査	8,297	県8,296 町1	
	その他の統計調査 ・経済センサス-調査区管理 6千円 ・経済センサス-活動調査準備 16千円 ・2025年農林業センサス 24千円 ・学校基本調査 8千円 ・統計調査員確保対策事業 12千円			
合計		8,297		
その他事業内容				

令和7年度 事業説明書



一般会計

1 基本情報

事業番号	210	事業名	商工業の振興		事業区分	□新規 ■継続	
担当課	商工観光課		担当係	商工係			
予算区分	款	6 商工費	項	1 商工費	目	2 商工振興費	
まちづくりビジョン	(4) 魅力ある産業が生み出す地域経済好循環のまちづくり				④ 地産地消の促進により地域の中で経済がまわる仕組みづくり		
重点事業	若者の定住・Uターンへの足掛かりとなる「住まい」と「しごと」の環境整						

2 当該年度の事業費

(単位：千円)

	事業費	事業費財源内訳					備考	
		国庫支出金	県支出金	その他(収入)	町債	一般財源	その他収入の内訳	町債の内訳
当初予算額	228,312	0	2,863	5,100	210,000	10,349	ふるさと未来夢基金(クラウドファンディング) 2,000 ふるさと未来夢基金繰入金 2,500 ふるさと未来夢基金繰入金 600	地域総合整備事業債 210,000
前年度予算額	53,903 (比較：174,409)			前々年度決算額		22,606 (比較：205,706)		
トータルコスト	238,819	一般職人件費		10,507 (1.5人)		会計年度職員人件費		(0人)

3 事業の概要

事業の目的 (なんのために)	商工業の振興を図るため、商工会等関係団体と連携を強化して事業者の自主的な取組を支援する。			
前年度からの改善点等	①補助金の見直しを行い、事業者ニーズに応じた補助金の最適化を図る。			
前年度評価で整理した取組みの内容	①地域内経済循環の促進を図るため商工会と連携して『BUYコトウラ運動』の継続的な取組を行う。 ②起業創業等の持続的な発展に対する取組を支援する。 ③深刻化する人材不足に対して人材確保対策・事業承継の支援を行う。			
細事業等	内容	予算額(千円)	財源内訳	前年度との変更点
中小企業・小規模企業振興基本計画検討委員会	第2次基本計画について進捗確認を行う。	8	単町	
商工会補助金	町内企業の人材確保や経営基盤の安定を図るため、商工会への支援を行う。 【主な事業】 ・中部地区高校等進路担当者意見交換会 ・企業紹介電子ブックの作成 ・高校生1年生を対象とした地元企業説明会 ・地域内経済循環促進 (BUYコトウラ運動：まちゼミ、BUYコトウラツアー) ・経営相談、経営指導など経営全般に関するサポート事業	6,500	単町	人材確保の取組を強化(企業紹介データブック作成)
小規模事業者経営改善資金利子補給金	町内の小規模事業者の負担軽減を図るため、「マル経資金」を借り入れた利子に対し支援する。 ・補助率 1/2 ・助成期間 3年	455	単町	
琴浦でスタート! 応援補助金	町内において新たに起業する個人、事業者及び町内にオフィスを移転する県外事業者に対し、その初期投資に係る経費の一部を助成する。 【起業支援事業】 ・一般枠 1件 補助率 1/2 (上限500千円) ・政策枠 1件 補助率 1/2 (上限1,000千円) ・クラウドファンディング (2,000千円) 【オフィス移転支援事業】 ・補助率10/10 (上限1,000千円)	4,500	ふるさと未来夢基金繰入金2,500 ふるさと未来夢寄附金(クラウドファンディング) 2,000	
地域経済変動対策資金利子補給事業	融資に対する利子補給 3年間 ・R4燃油及び原材料価格高騰・円安対策特別金融支援事業 9件 1,301千円 ・R5エネルギー・原材料価格高騰対策特別金融支援事業 19件 1,929千円 ・R6エネルギー・原材料価格高騰対策特別金融支援事業 2件 297千円	5,730	県1/2町1/2	

	・R6為替相場急変動対策特別金融支援事業 18件 2,203千円			
中小企業ステップアップ支援補助金 【改善】	事業者の競争力強化を目的に、新商品開発・販路開拓による収益の拡大、デジタル活用による業務効率化を推進し、事業者の持続的な発展のためのステップアップを支援する。 ・補助率 1/2 ・補助上限額 20万円 ・補助対象事業 新商品・新サービス開発（ふるさと納税返礼品のみ対象） 販路開拓 DX推進	600	ふるさと未来夢基金繰入金	新事業展開・販路開拓等支援補助金の見直しを行い、事業者ニーズに応じた内容に変更。
全国菓子大博覧会補助金 【新規】	4年に一度開催される全国菓子大博覧会に出展する団体を支援することにより、町内菓子業界並びに関連産業の振興と地域の活性化を図る。 ・補助対象経費 出展にかかる経費 ・補助率 10/10 ・補助上限額 10万円	100	単町	
地域総合整備資金貸付事業（ふるさと融資） 【新規】	地域振興に資する民間投資を支援するために地域総合整備財団（ふるさと財団）の制度を活用して、町が長期の無利子資金を融資するもの。 ・利子の75%が交付税措置 ・ファイナリー整備事業（法万） 醸造所、ショップ（直売所）整備財源	210,000	町債	
事業承継・引継ぎの啓発	後継者問題解決の手段として第三者承継の啓発を行う。後継者不在の事業者を訪問し、現状把握を行うとともに、適切な相談先へつなげる。	0		業者委託をせず、職員が事業者を訪問し、抱える課題の把握および整理を行う。
中小企業イメージアップ推進事業補助金 【廃止】	人材確保の支援や町内産業の活性化を図るため、町内中小企業のイメージアップに繋がる取組に係る経費の一部を助成する。 ・補助率 1/2 ・補助上限額 10万円	0		当補助金による事業者の求人活動における作成物支援については、一定の実績につながり、当初の目的を達成した。今後の人材確保支援の取組については、関係機関と連携し企業説明会等の機会を提供していく。
その他事務費等	その他経費	419	単町	
合計		228,312		

地域総合整備資金貸付事業（ふるさと融資）

【町の支援】

支援項目	支援内容	町の負担
●地域総合整備資金貸付（ふるさと融資）	地域総合整備財団（ふるさと財団）の制度を活用して町が民間事業者に長期の 無利子資金 を融資する20年償還（5年据置き）	利子 （町：25%、交付税75%）
●地域総合整備資金貸付保証料補助金	ふるさと融資の連帯保証に係る 保証料 を補助する（保証料支払発生から5年間補助） ※連帯保証料・・・融資残高に応じて民間事業者が金融機関へ毎年支払うもの	補助金 （町：25%、交付税75%）

【資金の流れ】

```

graph TD
    FI[金融機関] -- "融資の財源  
町債借入" --> T[町]
    T -- "融資分" --> FZ[ふるさと財団  
貸付・償還の  
事務手続を担う]
    FZ -- "無利子融資" --> MB[民間事業者]
    MB -- "元金" --> FZ
    FZ -- "元金" --> T
    T -- "元金" --> FI
    MB -- "保証料" --> MFI[民間金融機関]
    MFI -- "連帯保証" --> MB
    T -- "補助金" --> MFI
    MFI -- "保証料" --> T
  
```

町 地方交付税 25% 75%

町 地方交付税 25% 75%

令和7年度 事業説明書



一般会計

1 基本情報

事業番号	1532	事業名	琴浦町未来人材奨学金返還支援事業		事業区分	□新規 ■継続	
担当課	商工観光課		担当係	商工係			
予算区分	款	6 商工費	項	1 商工費	目	2 商工振興費	
まちづくりビジョン	(4) 魅力ある産業が生み出す地域経済好循環のまちづくり		(6) 企業のデジタル化と多様な働き方・雇用対策の推進				
	重点事業	若者の定住・Uターンへの足掛かりとなる「住まい」と「しごと」の環境整					

2 当該年度の事業費

(単位：千円)

	事業費	事業費財源内訳					備考	
		国庫支出金	県支出金	その他(収入)	町債	一般財源	その他収入の内訳	町債の内訳
当初予算額	981	0	0	981	0	0	未来人材奨学金返還支援基金繰入金 980 未来人材奨学金返還支援基金利子積立金 1	
前年度予算額	1,039 (比較：△58)			前々年度決算額		3,127 (比較：△2,146)		
トータルコスト	1,681	一般職人件費		700 (0.1人)		会計年度職員人件費		(人)

3 事業の概要

事業の目的 (なんのために)	地元企業の雇用確保やUターンを促進するため、学生等が返済する奨学金に対し支援を行う。企業に十分な制度周知を行うことにより、求人活動を通じて企業の人材確保対策の一助とする。			
前年度からの改善点等				
前年度評価で整理した取り組みの内容	①本補助金が町内定住のきっかけになるよう移住定住担当課とも連携し、継続して周知を図る。			
細事業等	内容	予算額 (千円)	財源内訳	前年度との変更点
未来人材奨学金返還支援補助金	大学生等の県内就職又は就業を支援し、若者の町内への定着及び地域で活躍する人材の確保を図るため、「鳥取県未来人材育成奨学金支援助成金」の対象者に奨学金の返還の一部を補助する。 ・令和2～6年度申請 15人分 480千円 ・申請予定 5人分 500千円 ・対象業種 製造業、情報通信業、薬剤師の職域、建設業、建設コンサルタント業、旅館・ホテル業、民間の保育士・幼稚園教諭の職域、農林水産業（法人または農林水産業協同組合）、理容師・美容師、歯科技工士の職域	980	未来人材奨学金返還支援基金繰入金10/10	対象業種を全業種に拡大
未来人材奨学金返還支援基金利子積立金	積立金	1	未来人材奨学金返還支援基金利子10/10	
	合計	981		
その他事業内容				

令和7年度 事業説明書



一般会計

1 基本情報

事業番号	1486	事業名	新型コロナウイルス感染症対策事業（緊急経済対策）	事業区分	□新規 ■継続	
担当課	商工観光課		担当係	商工係		
予算区分	款	6 商工費	項	1 商工費	目	2 商工振興費
まちづくりビジョン	(4) 魅力ある産業が生ま出す地域経済好循環のまちづくり			④ 地産地消の促進により地域の中で経済がまわる仕組みづくり		
	重点事業					

2 当該年度の事業費

(単位：千円)

	事業費	事業費財源内訳					備考	
		国庫支出金	県支出金	その他(収入)	町債	一般財源	その他収入の内訳	町債の内訳
当初予算額	8,783	0	4,389	4,394	0	0	新型コロナウイルス対策特別金融支援補給事業基金繰入金 4,389 新型コロナウイルス対策特別金融支援利子補給事業基金利子 5	
前年度予算額	19,131 (比較：△10,348)				前々年度決算額	14,368 (比較：△5,585)		
トータルコスト	9,483	一般職人件費		700 (0.1人)		会計年度職員人件費		(人)

3 事業の概要

事業の目的 (なんのために)	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により打撃を受けた事業者に対し、事業継続のための支援を行い、町内経済の持続と早期回復を図る。令和2～4年分の借入分を支援する。			
前年度からの改善点等				
前年度評価で整理した取り組みの内容	①新型コロナウイルス感染症拡大の影響により打撃を受けた事業者に対し、引き続き利子補給を行い、事業継続を支援する。			
細事業等	内容	予算額 (千円)	財源内訳	前年度との変更点
新型コロナウイルス対策特別金融支援利子補給金	経営に深刻な影響を受けている事業者の借り入れた鳥取県地域経済変動対策資金に係る利子を負担するための経費 (ア) 融資利率 0.7% (イ) 補助内容 5年間の利子を補助 ・令和2年借入分 8,008千円 ・令和3年借入分 638千円 ・令和4年借入分 132千円	8,778	県 1/2 新型コロナウイルス対策特別金融支援利子補給事業基金繰入金 1/2	
新型コロナウイルス対策特別金融支援補給事業基金利子積立金	積立金		5 新型コロナウイルス対策特別金融支援利子補給事業基金利子 10/10	
合計		8,783		
その他事業内容				

令和7年度 事業説明書



一般会計

1 基本情報

事業番号	215	事業名	観光振興事業		事業区分	□新規 ■継続	
担当課	商工観光課		担当係	観光係			
予算区分	款	6 商工費	項	1 商工費	目	3 観光費	
まちづくりビジョン	(4) 魅力ある産業が生み出す地域経済好循環のまちづくり				⑧ 道の駅を核とした周遊促進と観光消費の拡大		
	重点事業		次世代につなげる産業と「食」が広げる新たな魅力づくり				

2 当該年度の事業費

(単位：千円)

	事業費	事業費財源内訳					備考	
		国庫支出金	県支出金	その他(収入)	町債	一般財源	その他収入の内訳	町債の内訳
当初予算額	18,878	0	0	516	5,000	13,362	観光支援自動販売機電気料 480 鳴り石の浜公衆トイレコインシャワー収入 36	過疎対策事業債 5,000
前年度予算額	22,694 (比較：△3,816)			前々年度決算額		14,278 (比較：4,600)		
トータルコスト	22,380	一般職人件費		3,502 (0.5人)		会計年度職員人件費		(0人)

3 事業の概要

事業の目的 (なんのために)	「新しいひとの流れをつくり、暮らし続けることができるまちをつくる」ため、観光振興を推進する。			
前年度からの改善点等	①大阪・関西万博鳥取パビリオン出展を実施する。			
前年度評価で整理した取り組みの内容	①万博へ向けた観光情報発信が必要。 ②インバウンド対策のため、GOOGLEMAPSを活用した情報発信が必要。			
細事業等	内容	予算額 (千円)	財源内訳	前年度との変更点
琴の浦観光案内所運営業務委託料	琴浦町の玄関口である道の駅琴の浦観光案内所の運営を委託し、観光情報を発信する。	7,445	単町	
大山山麓・日野川流域観光推進協議会負担金	大山ブランドを活用した万博PR等を推進するため、大山山麓・日野川流域観光推進協議会を中心とする県中西部市町村と広域観光連携を行う。	1,048	町債 1,000 町 48	
ふるさと広域連合負担金(広域観光連携推進事業)	インバウンドや観光商品造成等を推進するため、鳥取中部観光推進機構を中心とする県中部市町と広域観光連携を行う。	3,650	町債 3,500 町 150	
大阪・関西万博鳥取パビリオン催事出展負担金【新規】	2025大阪・関西万博において、中部への誘客・PRを目的として1市4町が一体となり出展する。	674	単町	
町観光協会事業費補助金【改善】	町観光協会における次の主な事業に対する支援を行う。 ①琴浦グランサーモン町内流入クーポン券 道の駅琴の浦を町の玄関口として町内への流入を促進するため、琴浦グランサーモンクーポン券を発行する。 ②朝ドラ「ばけげん」ウォーク 令和7年後期放送の朝ドラ「ばけげん(小泉八雲・セツ)」にかかる町内周遊ウォークを開催する。 ③町内周遊観光タクシー助成事業 朝ドラ「ばけげん(小泉八雲・セツ)」にかかる町内周遊タクシー利用者への助成を行う。	355	単町	
白鳳祭運営費補助金	「火」と「食」をテーマとした白鳳祭の運営費への補助金	0		東伯総合公園内の工事により令和7年度の白鳳祭を開催できないことに伴うもの。
施設維持管理費等	各種施設修繕、維持管理等経費、各種団体負担金 等	5,706	町債500 観光支援自動販売機電気料 480 鳴り石の浜公衆トイレコインシャワー料 36 町4,690	
合計		18,878		
その他事業内容				

令和7年度 事業説明書



一般会計

1 基本情報

事業番号	217	事業名	一向平キャンプ場の管理と清掃活動事業		事業区分	□新規 ■継続	
担当課	商工観光課		担当係	観光係			
予算区分	款	6 商工費	項	1 商工費	目	3 観光費	
まちづくりビジョン	(4) 魅力ある産業が生ま出す地域経済好循環のまちづくり			⑨ グルメ×アウトドアによるコトウラニューツーリズムの推進			
	重点事業	次世代につなげる産業と「食」が広げる新たな魅力づくり					

2 当該年度の事業費

(単位：千円)

	事業費	事業費財源内訳					備考	
		国庫支出金	県支出金	その他(収入)	町債	一般財源	その他収入の内訳	町債の内訳
当初予算額	10,262	0	273	0	4,000	5,989		過疎対策事業債 4,000
前年度予算額	9,703 (比較：559)	前々年度決算額					18,251 (比較：△7,989)	
トータルコスト	13,764	一般職人件費		3,502 (0.5人)			会計年度職員人件費 (0人)	

3 事業の概要

事業の目的 (なんのために)	アウトドア観光の拠点として管理を行い、地域経済の活性化や交流・関係人口の増加を図る。			
前年度からの改善点等	①近年の物価高騰の状況を考慮し、指定管理料の増額を行う。 ②経年劣化に伴い各種ポンプ等の修繕を行う。			
前年度評価で整理した取り組みの内容	①サウナのさらなる利用者増加を図るため、各種の施策を行う。			
細事業等	内容	予算額 (千円)	財源内訳	前年度との変更点
中国自然歩道維持管理費	中国自然歩道の適切な管理を行う。	273	県 10/10	
一向平キャンプ場水源ポンプ取替工事 【新規】	キャンプ場内の井戸から汲み上げをする給水ポンプが設置から18年が経過したため、安定した給水のためにポンプの取替を行う。	3,630	町債 3,500 町 130	
一向平キャンプ場浄化槽水中排水ポンプ取替工事 【新規】	管理棟上の浄化槽について、浄化後の水を排水するポンプが故障しているため、ポンプの取替を行う。	336	町債 200 町 136	
一向平キャンプ場管理棟排水改良工事 【新規】	管理棟の排水は、管理棟下の浄化槽へ排水しているが浄化槽が故障しているため、管理棟上側の浄化槽へ接続するためにポンプを設置する。	535	町債 300 町 235	
一向平キャンプ場指定管理委託料 【改善】	指定管理者制度により、キャンプ場の管理運営を行い、民間ノウハウを活用し県内外からの誘客を行う。	3,300	単町	物価上昇等を加味した委託額の変更
施設維持管理費等	施設維持管理費、浄化槽管理費、火災保険料、修繕料 等	2,188	単町	
合計		10,262		
その他事業内容				

令和7年度 事業説明書



一般会計

1 基本情報

事業番号	407	事業名	船上山管理運営		事業区分	□新規 ■継続	
担当課	商工観光課		担当係	観光係			
予算区分	款	6 商工費	項	1 商工費	目	3 観光費	
まちづくりビジョン	(4) 魅力ある産業が生み出す地域経済好循環のまちづくり				⑨ グルメ×アウトドアによるコトウラニューツーリズムの推進		
	重点事業	次世代につなげる産業と「食」が広げる新たな魅力づくり					

2 当該年度の事業費

(単位：千円)

	事業費	事業費財源内訳					備考	
		国庫支出金	県支出金	その他(収入)	町債	一般財源	その他収入の内訳	町債の内訳
当初予算額	3,353	0	0	824	0	2,529	観光振興寄付金 800 茶園原休憩所余剰電力販売料 24	
前年度予算額	2,462 (比較：891)		前々年度決算額			2,415 (比較：938)		
トータルコスト	6,855	一般職人件費		3,502 (0.5人)		会計年度職員人件費		(0人)

3 事業の概要

事業の目的 (なんのために)	船上山を活かした観光振興を図るため、施設等の適切な維持管理を行う。			
前年度からの改善点等	①キリンビール寄付金を活用した整備やイベントを行う。			
前年度評価で整理した取り組みの内容	①琴浦アルプスの一角を担う船上山におけるアウトドア体験をさらに推進する。			
細事業等	内容	予算額 (千円)	財源内訳	前年度との変更点
船上山登山道倒木草刈り処理・清掃作業手数料	登山道の適切な維持管理を行うことで利用者の安全性・利便性を高める。	211	単町	
船上山トイレ維持管理費	登山客等に安心して利用いただくため、船上山周辺トイレの維持管理を行う。 ・公衆トイレ清掃等委託 468千円 ・山頂休憩舎トイレ清掃等委託 451千円 ・公衆トイレ浄化槽清掃・点検料等 454千円 ・山頂トイレ用酵素(消耗品) 70千円	1,443	茶園原休憩所余剰電力販売料 24 町 1,419	
万本桜復活戦略事業委託料	(株)キリンビール「桜の保全活動」寄付金を財源に桜の維持管理を行う。	495	寄付金 300 町 195	
万本桜公園周辺さくら植栽業務委託料	(株)キリンビール「桜の保全活動」寄付金を財源に公園周辺の維持管理を行う。	100	寄付金 10/10	
船上山さくら祭り運営費補助金 【新規】	(株)キリンビール「桜の保全活動」寄付金を財源に船上山さくら祭りの運営を支援する。	400	寄付金 10/10	
船上山紅葉フェス運営費補助金 【新規】	船上山紅葉フェスの運営を支援する。	300	単町	
その他	駐車場芝管理費、火災保険料、修繕料 等	404	単町	
合計		3,353		
その他事業内容				

令和7年度 事業説明書



一般会計

1 基本情報

事業番号	408	事業名	道の駅ポート赤碕運営管理		事業区分	□新規 ■継続	
担当課	商工観光課		担当係	観光係			
予算区分	款	6 商工費	項	1 商工費	目	3 観光費	
まちづくりビジョン	(4) 魅力ある産業が生み出す地域経済好循環のまちづくり		⑧ 道の駅を核とした周遊促進と観光消費の拡大				
	重点事業	次世代につなげる産業と「食」が広げる新たな魅力づくり					

2 当該年度の事業費

(単位：千円)

	事業費	事業費財源内訳					備考	
		国庫支出金	県支出金	その他(収入)	町債	一般財源	その他収入の内訳	町債の内訳
当初予算額	2,930	0	0	2,930	0	0	ポート赤碕物産館使用料 2,930	
前年度予算額	2,749 (比較：181)						2,947 (比較：△17)	
トータルコスト	7,412	一般職人件費			2,802 (0.4人)		会計年度職員人件費	1,680 (0.5人)

3 事業の概要

事業の目的 (なんのために)	地元密着型の道の駅として地元産品の直売等を行うほか、町内観光をつなぐ拠点として機能させ地域経済の活性化を図る。			
前年度からの改善点等	①有限会社ポート赤碕と連携し、定期イベントを開催する。			
前年度評価で整理した取り組みの内容	①イベント実施や広報の強化をさらに推進することが必要。			
細事業等	内容	予算額 (千円)	財源内訳	前年度との変更点
ポート赤碕運営負担金	施設管理費 ごみ清掃費等共同経費	2,503	ポート赤碕物産館使用料	
道の駅ポート赤碕定期イベント開催 【新規】	有限会社ポート赤碕と連携し定期イベントを開催する。	100	ポート赤碕物産館使用料	
施設維持管理費等	消防用設備点検、火災保険等	327	ポート赤碕物産館使用料	
	合計	2,930		
その他事業内容				

令和7年度 事業説明書



一般会計

1 基本情報

事業番号	1079	事業名	道の駅琴の浦管理運営事業		事業区分	□新規 ■継続	
担当課	商工観光課		担当係	観光係			
予算区分	款	6 商工費	項	1 商工費	目	3 観光費	
まちづくりビジョン	(4) 魅力ある産業が生み出す地域経済好循環のまちづくり		⑧ 道の駅を核とした周遊促進と観光消費の拡大				
	重点事業	次世代につなげる産業と「食」が広げる新たな魅力づくり					

2 当該年度の事業費

(単位：千円)

	事業費	事業費財源内訳					備考	
		国庫支出金	県支出金	その他(収入)	町債	一般財源	その他収入の内訳	町債の内訳
当初予算額	6,496	0	0	402	0	6,094	物産館ことうら利益還元納付金 402	
前年度予算額	7,045 (比較：△549)				前々年度決算額		6,817 (比較：△321)	
トータルコスト	9,298	一般職人件費		2,802 (0.4人)			会計年度職員人件費 (人)	

3 事業の概要

事業の目的 (なんのために)	観光の拠点(ゲートウェイ)として機能させ、地域産品の販売や地域観光への回遊を促進する。民間ノウハウによる効率的な施設運営と顧客満足度の向上を図る。			
前年度からの改善点等	①道の駅琴の浦を玄関口に町内周遊の促進に取り組む。			
前年度評価で整理した取り組みの内容	①物産館ことうらにおいて、指定管理者が中心となり土産物・飲食販売の強化が必要。			
細事業等	内容	予算額(千円)	財源内訳	前年度との変更点
琴浦PAトイレ消耗品費	道の駅琴の浦のトイレの消耗品費	1,080	単町	
光熱水費	観光交流情報提供窓口の光熱水費	278	単町	
道の駅琴の浦トイレ清掃委託料	道の駅琴の浦のトイレ清掃を委託する。	4,480	単町	
物産館ことうら運営基金積立金	物産館ことうら指定管理者から、協定に基づく利益還元納付金を物産館ことうら運営基金へ積立て、今後の大規模修繕に備える。	402	物産館ことうら利益還元納付金	
その他経費	連絡料(国交省)各種負担金等	256	単町	
	合計	6,496		
その他事業内容				

令和7年度 事業説明書



一般会計

1 基本情報

事業番号	1142	事業名	旧中井旅館管理運営事業		事業区分	□新規 ■継続	
担当課	商工観光課		担当係	観光係			
予算区分	款	6 商工費	項	1 商工費	目	3 観光費	
まちづくりビジョン	(4) 魅力ある産業が生み出す地域経済好循環のまちづくり			⑧ 道の駅を核とした周遊促進と観光消費の拡大			
	重点事業						

2 当該年度の事業費

(単位：千円)

	事業費	事業費財源内訳					備考	
		国庫支出金	県支出金	その他(収入)	町債	一般財源	その他収入の内訳	町債の内訳
当初予算額	395	0	0	1	0	394	旧中井旅館使用料 1	
前年度予算額	447 (比較：△52)				前々年度決算額		425 (比較：△30)	
トータルコスト	1,095	一般職人件費		700 (0.1人)			会計年度職員人件費	(0人)

3 事業の概要

事業の目的 (なんのために)	施設を活用して、交流人口を増やし地域経済の活性化を図る。			
前年度からの改善点等				
前年度評価で整理した取り組みの内容	①施設の適切な維持管理を行う。			
細事業等	内容	予算額(千円)	財源内訳	前年度との変更点
施設維持管理費	観光活用をはじめ、地元の高齢者サークルや有志団体の活動の場としても活用する。 ・消耗品費 20千円 ・清掃手数料等 82千円 ・火災保険料 33千円 ・駐車場賃借料 60千円 ・修繕料 200千円	395	旧中井旅館使用料1町394	
	合計	395		
その他事業内容				

令和7年度 事業説明書



一般会計

1 基本情報

事業番号	1567	事業名	地域おこし協力隊活動事業（商工観光課）		事業区分	□新規 ■継続	
担当課	商工観光課		担当係	観光係			
予算区分	款	6 商工費	項	1 商工費	目	3 観光費	
まちづくりビジョン	重点事業		(4) 魅力ある産業が生み出す地域経済好循環のまちづくり ⑨ グルメ×アウトドアによるコトウラニューツーリズムの推進 次世代につなげる産業と「食」が広げる新たな魅力づくり				

2 当該年度の事業費

(単位：千円)

	事業費	事業費財源内訳					備考	
		国庫支出金	県支出金	その他(収入)	町債	一般財源	その他収入の内訳	町債の内訳
当初予算額	1,404	0	0	0	0	1,404		
前年度予算額	7,412 (比較：△6,008)				前々年度決算額		1,440 (比較：△36)	
トータルコスト	5,766	一般職人件費		1,401 (0.2人)		会計年度職員人件費		2,961 (1人)

3 事業の概要

事業の目的 (なんのために)	地域おこし協力隊制度を活用して観光情報発信やアウトドア起業家の養成を行う。			
前年度からの改善点等	①引き続き、ハーバルカップイベントへ出場する予算を計上する。 ②卒業後も町内で活躍してもらうように研修への参加を行う。			
前年度評価で整理した取り組みの内容	①卒業後に地域おこし協力隊が町内で活躍できるよう支援していく必要がある。			
細事業等	内容	予算額 (千円)	財源内訳	前年度との変更点
アウトドア起業家	<ul style="list-style-type: none"> 令和6年度に引き続きサウナハーバルカップ大会へ参加。 ウィスキングによる「いやし体験」を住民の方へ広める。 卒業後の起業等に向けて研修を受講する。 	1,404	単町	
	合計	1,404		
その他事業内容				

令和7年度 事業説明書



一般会計

1 基本情報

事業番号	1670	事業名	日韓友好資料館サイクルステーション拠点整備事業			事業区分	■新規 □継続
担当課	商工観光課		担当係	観光係			
予算区分	款	6 商工費	項	1 商工費	目	3 観光費	
まちづくりビジョン	(4) 魅力ある産業が生み出す地域経済好循環のまちづくり			⑨ グルメ×アウトドアによるコトウラニューツーリズムの推進			
	重点事業						

2 当該年度の事業費

(単位：千円)

	事業費	事業費財源内訳					備考	
		国庫支出金	県支出金	その他(収入)	町債	一般財源	その他収入の内訳	町債の内訳
当初予算額	43,747	21,873	0	0	13,400	8,474		過疎対策事業債 13,400
前年度予算額					前々年度決算額			
トータルコスト	47,249	一般職人件費			3,502 (0.5人)		会計年度職員人件費	(0人)

3 事業の概要

事業の目的 (なんのために)	サイクルを活用して地域経済の活性化を図り、町内に観光を通じた新たな産業と雇用の創出を行うこと。			
前年度からの改善点等				
前年度評価で整理した取り組みの内容				
細事業等	内容	予算額 (千円)	財源内訳	前年度との変更点
日韓友好資料館サイクルステーションアドバイザー報酬金 【新規】	日韓友好資料館サイクルステーションにかかる外部専門家によるアドバイザー報酬金	880	国1/2 町1/2	
琴浦町観光協会HP・観光パンフレット作成委託料 【新規】	琴浦町観光協会HP・観光冊子を作成するための委託料	5,500	国1/2 町1/2	
日韓友好資料館サイクルステーション模様替え工事 【新規】	日韓友好資料館サイクルステーション模様替えにかかる経費 設計委託料 2,530千円 監理委託料 1,870千円 工事費 29,700千円	34,100	国17,050 町債13,400 町3,650	
日韓友好資料館サイクルステーション施設外看板貼替工事 【新規】	日韓友好資料館サイクルステーション施設外看板にかかる貼替工事	2,475	国1/2 町1/2	
日韓友好資料館サイクルステーション備品購入費 【新規】	日韓友好資料館サイクルステーションにかかる備品購入費	792	国1/2 町1/2	
	合計	43,747		
その他事業内容				

令和7年度 事業説明書



一般会計

1 基本情報

事業番号	25	事業名	八橋ふれあいセンター管理		事業区分	□新規 ■継続	
担当課	商工観光課		担当係	商工係			
予算区分	款	6 商工費	項	1 商工費	目	4 地域振興費	
まちづくりビジョン	(1) 新しいひとの流れをつくりだす共生のまちづくり			③ 町民主役の地域づくり			
	重点事業						

2 当該年度の事業費

(単位：千円)

	事業費	事業費財源内訳					備考	
		国庫支出金	県支出金	その他(収入)	町債	一般財源	その他収入の内訳	町債の内訳
当初予算額	912	0	0	0	0	912		
前年度予算額	1,337 (比較：△425)			前々年度決算額		1,455 (比較：△543)		
トータルコスト	1,612	一般職人件費		700 (0.1人)		会計年度職員人件費		(0人)

3 事業の概要

事業の目的 (なんのために)	地域住民の交流等を図り、また八橋駅待合所として活用するため、維持管理を行う。			
前年度からの改善点等				
前年度評価で整理した取り組みの内容	①八橋地域の振興拠点として引き続き施設の利用促進を図る。			
細事業等	内容	予算額 (千円)	財源内訳	前年度との変更点
八橋ふれあいセンター指定管理委託料	地域住民の交流を図るため、駅トイレの清掃、施設の運営など維持管理を行う。	755	単町	
施設維持管理費	火災保険料・消防設備保守委託料等	157	単町	
	合計	912		
その他事業内容				

令和7年度 事業説明書



一般会計

1 基本情報

事業番号	415	事業名	日韓友好交流公園管理運営		事業区分	□新規 ■継続	
担当課	商工観光課		担当係	商工係			
予算区分	款	6 商工費	項	1 商工費	目	4 地域振興費	
まちづくり ビジョン	(4) 魅力ある産業が生み出す地域経済好循環のまちづくり				④ 地産地消の促進により地域の中で経済がまわる仕組みづくり		
	重点事業						

2 当該年度の事業費

(単位：千円)

	事業費	事業費財源内訳					備考	
		国庫 支出金	県支出金	その他 (収入)	町債	一般財源	その他収入の内訳	町債の内訳
当初予算額	3,896	0	0	0	0	3,896		
前年度予算額	3,780 (比較：116)			前々年度決算額		2,655 (比較：1,241)		
トータルコスト	11,427	一般職人件費		3,502 (0.5人)		会計年度職員人件費		4,029 (1.2人)

3 事業の概要

事業の目的 (なんのために)	日韓の交流・誘客を図るため、資料館及び公園の維持管理を行う。			
前年度からの 改善点等				
前年度評価で 整理した 取り組みの内容				
細事業等	内容	予算額 (千円)	財源内訳	前年度との変更点
施設維持管理費	公園管理費、光熱水費金など	3,896	単町	公園管理委託料の見直しによる増 (人件費、薬剤費などの増)
	・交流公園芝・植栽管理委託料 2,664千円 ・光熱水費、警備委託料 等 1,232千円			
	合計	3,896		
その他事業内容				